

おおきくな～れ!

うきうきステージ特集号



令和3年12月3日

中央区立 月島第一幼稚園 りす組 首藤 孝子

いよいよ来週は、「うきうきステージ」です!年少組の今の時期は、一人ひとりが自分なりに表現する楽しさを十分に味わうことが大切な時期です。そこで、「うきうきステージ」への取り組みとして、まずは毎日の遊びの中で「なりたいもの」になりきって遊ぶことを十分に楽しめるようにしています。「うきうきステージ」でお見せる「お話ごっこ」も、みんなで一緒にする遊びの一つとして楽しむことができました。今回はその様子的一端を紹介します。



なりきって楽しい!

好きな遊びの中でなりきって動くことの楽しさを感じています。

お面を作って付けると、動物のような動きになり、話し方も、そうさんのようにゆっくり話したり、「〇〇だケロッ」と語尾が変わったり、あっという間に動物になりきれのが3歳ならではのかわいらしさだと感じます。

お話遊びをしよう♪

1学期から、「あるところにうさぎさんがいました…」と教師がお話を始めると、その話に沿ってイメージをふくらませながら動くことを楽しんでた子どもたち。

時には、「もりのレストラン」に遊びに行ってみなでご飯を食べたり、園長先生と一緒に「こびとのくつやさん」のお話を表現したり、自分たちがなりきってお話の世界に入り込み、それぞれの表現や教師とやりとりを楽しむ中で、お話ごっこの楽しさを感じました。



園長先生に、「こびとのくつやさん」のパネルシアターをしてもらって…

パネルシアターのお話に沿って、動物になって動きました!



みんなで塗ったお風呂が完成!



作って遊ぼう

表現遊びに使うものを作ることも表現活動のひとつです。お面は、自分のなりきりたい動物のものを選んで好きな数だけ作りました!パーツは、のりを使って丁寧に貼りました。同じパーツでも、一人ひとりの貼る位置によってガラッと表情が変わります。20通りの表情をお楽しみください!

表現遊びに使われている大きなお風呂は子どもたちが塗りました。筆で塗るのは初めてでしたが、筆を絵の具に付けてそのまま塗るとぼたぼたと垂れてしまうため、入れ物のふちで筆から絵の具を落とすとよいことを伝えると、やってみようとしていました。そして、広いお風呂を思い切り塗ることを楽しみました!

公開当日の演目 「もりのおふろやさん」 あらすじ

誕生会のお楽しみ「まちのおふろやさん」のパネルシアターをとても楽しんでた子どもたち。これを子どもたちが表現したら、どんな風になるかな…?と考えわくわくしながら、この題材を選んでりす組オリジナルのお話を作りました!

もりで大人気のおふろさんには、毎日たくさん動物がやってきます!当日までどの動物に変身するかはお楽しみです!

動物になりきっておふろさんに来る姿や、歌に合わせて体を洗う姿にご注目ください!



うきうきステージ当日も「劇を発表する」のではなく、「みんなで一緒に遊びに行く」つもりで舞台上がるため、普段通りにその日の気分役を選びます。一つの役に人数が集中したり、予定していた役のなり手がいないことがあったりするかもしれませんが、そのような「自由感」が、子どもたちがのびやかに表現することを支えています。当日は、年少組の今しか見られないかわいらしい姿や自然体でなりきって動く姿を、温かい眼差しと笑顔で見守っていただければと思います。